

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 3月 24日

事業所名 ぼらりすあんど

保護者等数(児童数) 18 回収数 15 割合 83%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14			1		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	2		1		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15					
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15					
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	4	2	6		
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15					
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15					
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15					
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	3	2	6	会に参加したことが無い	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1		4	苦情等の事例が無い	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	4		3		
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	14			1		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	1		3		
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5		1	9		
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	15					
	18	事業所の支援に満足しているか	14	1				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月24日

事業所名 ぽらりすあんど

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		玄関に段差はあるが、必要に応じて対応する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			日々行う連絡会議やカンファレンス等で確認し、職員間で共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向けアンケートを実施。結果を保護者へ返し、業務内容の改善に向けて職員間で検討している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			自己評価集計結果は事業所ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	運営については、第三者に意見を求めて業務改善につなげているが、外部評価という形をとっていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			内部研修の機会を月に1回、確保している。外部研修やカンファレンスにも参加している。出席できない非常勤職員にも内容を伝達したり、個別に研修を行ったりしている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			行動観察や保護者様からの聞き取り、発達検査の結果を反映して計画を立てている。職員会議でそれぞれの専門職からの意見、情報交換を行っている。また、保護者面接の時に子どもの様子を聞いて、計画に反映できるようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			契約時にアセスメントシートを用い、家族より情報を得ている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			グループ活動では、事前の打ち合わせを行い、意見を出し合いながら内容を決めている。グループ活動後には振り返りも実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			利用者様の課題に応じて、その都度、設定している。個々に合った内容であるか、固定化していないか等を常に職員会議で話し合っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日、休日、長期休暇に応じて内容は変えていないが、個々に応じた課題を毎回、設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			利用者様の課題に応じて、個別活動と集団活動に対応できるようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			課題や目標について共有し、分からないことや疑問がある場合には話し合い、共通認識を持つようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			職員間や責任者と指導内容、子どもの様子等を話し合い、共有している。適時、職員会議で検討したり、カンファレンスを行ったりしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			担当している子どもについて、助言を得ながら毎回、記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			家族から状態や必要な支援について情報を得て、必要に応じて見直しをしていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			要請がある時には児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			保護者を通じて情報を得ている。必要に応じて支援会議等に参加している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				医療的ケアが必要な子どもを受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			必要に応じて、情報共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	開所1年目のため、障害福祉サービス事業所等へ移行する利用者様がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			必要に応じて、利用者様の主治医と連携し、助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	事業所内での個別支援を中心としている。グループ活動においては、利用者様同士の交流を基本としている。現在のところはそういった活動はしていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			日時を極力合わせて児童発達支援管理責任者や支援員が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			定期的に保護者面接を行っている(月1~2回)。その際に学校や家庭の様子、子どもの発達状況や課題を共有している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○	ペアレント・トレーニングとしての場は設けていないが、定期的な保護者面接の中で行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			運営規定等については、契約時に説明をしている。支援の内容や利用者負担等については、毎月、知らせている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者から相談がある際には、面談や電話で対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	家族間の関係性もあるため、開催、実施は行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情等については、契約時に説明し、対応には児童発達支援管理責任者が担うことを周知している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			必要に応じて、保護者向けのお知らせを掲示したり、公式LINEアカウントで配信したりする等、連絡事項の周知を図っている。
	35	個人情報に十分注意している	○			記録類は施錠できるロッカーに保管している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			職員には研修を行い周知している。保護者には契約時に周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			法人内で職員の避難訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			職員には研修を行い周知している。保護者には契約時に周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			契約時に説明している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				食べ物の提供は行っていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		その都度、気になることは口頭、会議で共有している。今後は、事例集を作成していく。